

## 1 本取組の位置づけ

## 現状・課題

- ・特殊詐欺に対しては様々な対策が講じられているが、その手口は巧妙化・複雑化し、認知件数・被害額も高い水準で推移している。令和5年の全国の特種詐欺による年間被害額は440億円に上り、市内においても、過去最大の1億9000万円余となった。
- ・市は、特殊詐欺被害の未然防止に向けた各種取組を基本計画事業に位置付けるとともに、特殊詐欺対策として、**自衛**、**地域防衛**、**家族防衛**、**子ども・若者防衛**、**連携防衛**の「5つの防衛策」を掲げている。
- ・高齢者自身の気付きを促す“自衛”を支援するとともに、遠方に住んでいる、就業等で忙しいなどの事情を抱えた**家族・親族による“家族防衛”**の取組を支援することが重要。

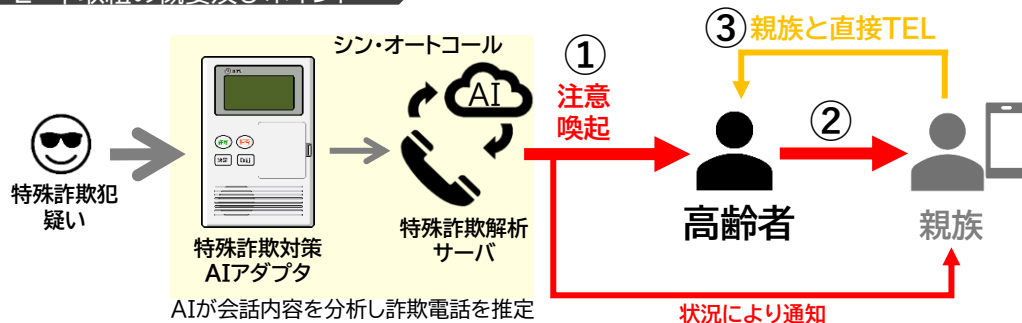


## ■調布スマートシティ協議会

- ・協議会構成員であるNTT東日本が有する特殊詐欺解析AIが通話内容を解析し、特殊詐欺が疑われる場合に注意喚起の電話やメールを送信する「特殊詐欺対策AIアダプタ」、及びあらかじめ録音した音声で指定した固定電話への自動発信できる「シン・オートコール」の技術を活用し、共有価値を創造し、課題解決につなげたい。
- ・本取組について令和6年度に実証事業を行う旨、前年度末の幹事会にて報告。

調布スマートシティ協議会(防災WG)における取組として、**令和6年度に実証事業及び効果検証**を行い、検証結果を踏まえて、今後の展開について検討する。

## 2 本取組の概要及びポイント



## 1 親族の肉声で高齢者本人へ注意喚起

- ▶ “本当の” 親族の声を聞くことで、詐欺電話との違いや違和感への**気付きを促す**。
- ▶ 本人が状況説明※する機会を設けることで、冷静さを取り戻し、通話内容を振り返る**時間を創出**する。  
※…AIが詐欺疑い探知した場合、誰からの電話かなど受電内容について自身でメッセージを残せる

## 2 親族の見守りを支援

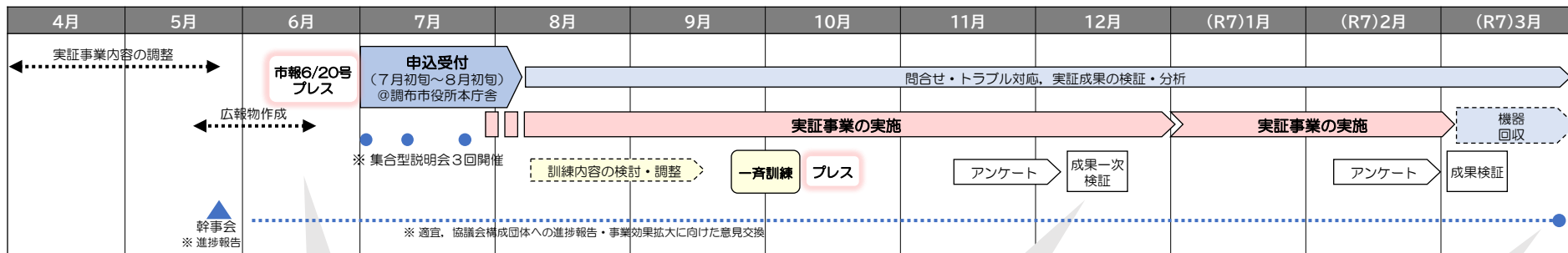
- ▶ 詐欺疑いの受電があった旨を**自動で親族へ通知**。
- ▶ 高齢者の音声メッセージを文字化※して親族へSMS送信することが可能であり、**親族の負担を軽減**。  
※…特許技術

## 3 高齢者本人と親族が直接話す機会を創出

- ▶ 親族が取るべき行動を自動で案内することで、**親族による高齢者の詐欺対策を着実に支援**。
- ▶ 親族は通知された操作に従うことで、ワンストップで手間なく高齢者へフォロー・確認が可能。

## 3 令和6年度の取組スケジュール及び各段階における課題認識

◀取組目標▶ ① 実証事業参加者数:100人(※予算上限) ② デモ発信による実機を用いた一斉訓練の実施 ③ スマートシティ協議会による実証事業検証



## ◎ NTT東日本・市内関係部署との調整

- ・NTT東日本による詳細な事業フロー・見積作成
- ・契約課協議
- ・参加者数確保のための関係団体への依頼調整

## ◎ 広報による犯罪抑止効果の整理

- ・実証事業期間や事業終了後の対応を含めた広報の在り方

## ◎ 成果・検証結果の分析

- ・協議会構成員からの評価・検証
- ・市内各部署への成果の共有

## ◎ 次年度予算の対応要否

- ・事業所管課において継続実施とするか、一旦終了とするか
- ・一旦終了とする場合のクラウドシステム保持の判断

## ◎ 成果・検証結果の生かし方

- ・協議会構成員からの評価・検証
- ・市内各部署への成果の共有
- ・成果の対外公表方法の検討